記入例 牛用

定期報告書

西暦 〇〇〇〇 年 〇月 〇日

都道府県知事 〇〇 殿

経営体ID												
農場ID												
農場名	00)フ;	アー	ム								
農場名 ※訂正欄												
	1	2	3	_	5	6	7	8				
住 所	1	邻道角	守県		市	三 町木	寸郡			市	区町村	村郡以降
	静岡	県		С	の市	ì		Δ	Δ			
A- =C				-	<u> </u>			<u>.</u>				
住所※訂正欄	才	邻道系	守県		市	区町木	寸郡			市	区町村	村郡以降
電子メール		(00	ΔΔ	7@(00.	ΔΔ	. ј	p			
電子メール ※訂正欄												
(電話番号)	1	2	3	4	 5 	6	7	 8 	9	1	2	※ハイフンなし 左詰めで記入
(電話番号) ※訂正欄					<u> </u>	! !	 -			: !	! !	※ハイフンなし 左詰めで記入
(FAX)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし 左詰めで記入
(FAX) ※訂正欄			 -	 -	<u>.</u>	<u> </u>	 -	į ,		 -	 -	※ハイフンなし 左詰めで記入

家畜伝染病予防法第12条の4第1項の規定により、以下のとおり報告します。

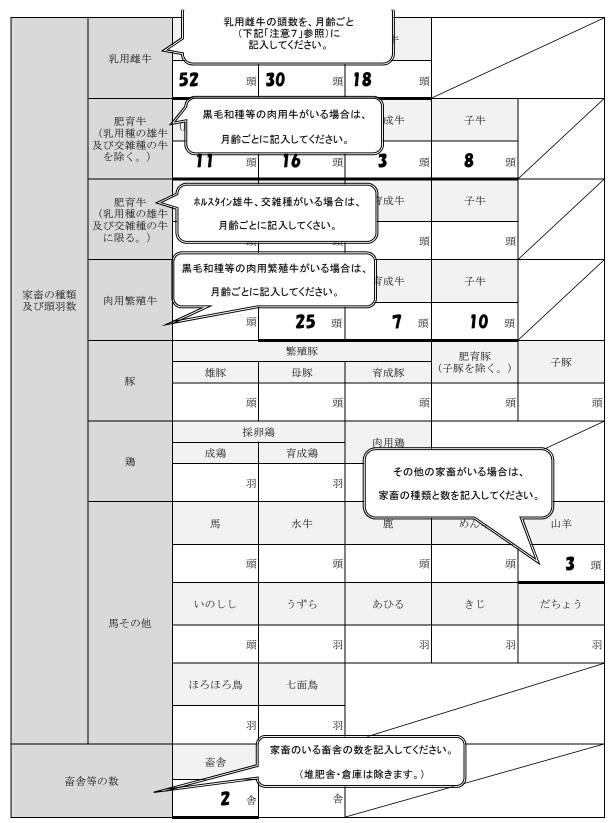
1. 基本情報

住所、氏名、電話番号、ファックス番号、

メニルアドレスを記えしてください

家畜の所有者の氏名	静岡 太郎	メールフ	ドレスを記入してください。
家畜の所有者の氏名 ※訂正欄			
	THUS IN STATE OF	- 4 5 6 7	
家畜の所有者の住所	都道府県	市区町	市区町村郡以降
	静岡県	00市	ΔΔ
ウオのデナギの仕ず	郵便番号	-	
家畜の所有者の住所 ※訂正欄	都道府県	市区町村郡	市区町村郡以降

	電子メール OOAA@OOAA.jp												
	電子メール ※訂正欄				_								
	携帯電話番号	1	2	3	 4	5	6	7	8	9	1	3	※ハイフンなし左詰めで記入
安玄の正方老の海紋生	携帯電話番号 ※訂正欄												※ハイフンなし左詰めで記 入
家畜の所有者の連絡先	(電話番号)	1	2	3	¦ 4	5 5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記 入
	(電話番号) ※訂正欄												※ハイフンなし左詰めで記入
	(FAX)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記入
	(FAX) ※訂正欄		 -	 -		 -	 -	 -	 -	 -	į	 -	※ハイフンなし左詰めで記入
飼養衛生管理者	□ 家畜の所有る は記入は不要	者が	自ら	飼剤	を衛生 かんしん	主管:	理者	の場	 合、	チ	エツ	クを	と付け飼養衛生管理者の情報
飼養衛生管理者の氏名													
飼養衛生管理者の氏名 ※訂正欄								別σ	方だ	が農	場を	管理	している場合、
	郵便番号		<u>. </u>	<u> </u>	<u> </u>	7	のオ	うのE	氏名.	、住	所、i	車絡	先を記入してください。
飼養衛生管理者の住所	都道府」	具		+		7							
		1			1			ı	I				
飼養衛生管理者の住所	郵便番号	<u> </u>	 !	-	 !	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>					Lamina II an in the
※訂正欄	都道府」	杲		+		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降
	まっ 、												
	電子メール電子メール												
	※訂正欄			1	1						1		W
	携帯電話番号		<u> </u>							<u> </u>		<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記 入
飼養衛生管理者の連絡先	携帯電話番号 ※訂正欄		<u> </u> 	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u> 	<u> </u> 	<u> </u> 	<u> </u> 	<u> </u> 	<u> </u>	! 	※ハイフンなし左詰めで記入
四食削工 目 任有 ツ 理 桁 兀	(電話番号)		!	<u> </u>	<u> </u>	!	!	!		!		 !	※ハイフンなし左詰めで記 入
	(電話番号) ※訂正欄												※ハイフンなし左詰めで記 入
	(FAX)		<u> </u>	_						<u> </u>	惶惶∥	· D仕i	所が上記と異なる場合、
	(FAX) ※訂正欄									"=	হ <i>শ্য</i> ⊓ ∪		別が工能と異なる場合、 記記 !入してください。
		2	3	<u> </u>	4	5	6	8		_		п	
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道府」	県		T		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降
	静岡県	ı			OOF	Ħ	ı	ı	ı		××	<	
飼養衛生管理者が管理する衛生	郵便番号		<u> </u>	ļ _			<u> </u>						
管理区域の住所 ※訂正欄	都道府」	具		+		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降
									\nearrow				
		「記「	注意	[7]	参照)に	۲						
		記入	して	くだ	さい。	•							



注意 1 本報告書は、農場ごとに、家畜の所有者(当該所有者以外に家畜伝染病予防法第3条の管理者がある場合にあっては、当該管理者。以下この1において同じ。)が作成し、提出すること。なお、作成に当たって、所有者以外の者が家畜伝染病予防法第12条の3の2の飼養衛生管理者である場合にあっては、当該飼養衛生管理者に作成させることができる。

² 家畜の所有者は、「家畜の所有者の氏名」欄、「家畜の所有者の住所」欄及び「家畜の所有者の連絡先」欄を 記載すること。ただし、家畜の所有者以外に家畜伝染病予防法第3条の管理者がある場合、もしくは法人の場 合にあっては、家畜の所有者に代わり管理者もしくは法人の情報を記載すること。

- 3 家畜の所有者が自ら飼養衛生管理者となる場合については、「飼養衛生管理者の氏名」欄に「同上」と記載すること。この場合、「飼養衛生管理者の住所」欄、「飼養衛生管理者の連絡先」欄、「飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所」欄の記載は要さない。
- 4 衛生管理区域ごとに「飼養衛生管理者の氏名」欄、「飼養衛生管理者の住所」欄、「飼養衛生管理者の連絡 先」欄、「飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所」欄をそれぞれ記載すること。 その際、飼養衛生管理者が複数の場合は、本様式の1. 基本情報の該当欄に飼養衛生管理者を代表する者の 情報を記載し、その他の飼養衛生管理者の情報については、別紙の1-2. その他の飼養衛生管理者の欄に記載すること。なお、飼養衛生管理者が1人の場合は別紙の提出は必要ない。
- 5 報告の期日等について
- (1)報告事項は、その年の2月1日時点のものとすること。
- (2) 報告書の提出期限は、
 - イ牛・水牛・鹿・めん羊・山羊・豚・いのしし・馬の場合は、毎年4月15日 ロ鶏・あひる・うずら・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥の場合は、毎年6月15日
- 6 家畜の飼養頭羽数については、その年の2月1日時点において、同日前に家畜の出荷又は移動を行ったことにより、当該家畜の飼養頭羽数が通常よりも相当程度少ない場合にあっては、当該出荷又は移動を行った日の前日時点のものとすること。
- 7 「家畜の種類及び頭羽数」の欄における用語の意義は、次のとおりとする。
- (1)「乳用雌牛」において、「成牛」とは月齢が満24月以上のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月以上満24月未満のものをいい、「子牛」とは日齢が満10日以上で月齢が満4月未満のものをいう。
- (2) 「肥育牛(乳用種の雄牛及び交雑種の牛を除く。)」において、「成牛(肥育後期の牛)」とは月齢が満24 月以上のものをいい、「肥育前期の牛」とは月齢が満9月以上満24月未満のものをいい、「育成牛」とは月 齢が満4月以上満9月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (3) 「肥育牛(乳用種の雄牛及び交雑種の牛に限る。)」において、「成牛(肥育後期の牛)」とは月齢が満17 月以上のものをいい、「肥育前期の牛」とは月齢が満7月以上満17月未満のものをいい、「育成牛」とは月 齢が満4月以上満7月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (4)「肉用繁殖牛」において、「成牛」とは月齢が満24月以上のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月以上 満24月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (5) 「子豚」とは、離乳した豚であって月齢が満3月未満のものをいう。
- (6)「繁殖豚」において、「雄豚」及び「雌豚」とは月齢が満12月以上のものをいい、「育成豚」とは月齢が満3月以上満12月未満のものをいう。
- (7)「採卵鶏」において、「成鶏」とは日齢が満150日以上のものをいい、「育成鶏」とは日齢が満150日未満の ものをいう。
- 8 「2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況」については、飼養する家畜の種類に対応する様式(1)から(4)までの間から選択し、記載すること。また、「飼養衛生管理基準遵守状況の添付資料一覧」に掲げた資料を添付すること。ただし、家畜伝染病予防法施行規則第21条の6において、報告事項が同条第1号、第2号及び第5号に掲げる事項に限定されている者(※)は、「1. 基本情報のうち、畜舎等の数」及び「2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況」の報告並びに「添付書類」の提出は不要である。
- 9 報告いただいた家畜の所有者の氏名又は名称及び連絡先並びに飼養衛生管理者の氏名及び連絡先については、家畜衛生に関する情報の迅速な共有等を目的として、農林水産省に共有します。 また、法令に基づき農林水産省から家畜の所有者に関する情報についての報告を求められた場合には、報告いただいた内容の全部又は一部を同省に提供することがあります。
- 10 報告いただいた内容のうち、家畜伝染病予防法施行規則第21の6で定める事項については、家畜伝染病予防法 第12条の4の2の規定に基づき、都道府県から当該家畜の所在地を管轄する市町村へ通知いたします。
- ※ 家畜伝染病予防法施行規則第21条の6において、報告事項が同条第1号、第2号及び第5号に掲げる事項 に限定されている者とは、次の各号に掲げる家畜の所有者について、それぞれ当該各号に定める頭羽数の家 畜の所有者をいう。
- (1) 牛・水牛・馬の場合 1頭
- (2) 鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 6頭未満
- (3) 鶏・あひる・うずら・きじ・ほろほろ鳥・七面鳥の場合 100羽未満
- (4) だちょうの場合 10羽未満

										1½ に.	基本/ 複数	情報 ケ人を	」に記載した管理者以外 管理者を設置する場合、		
飼養衛生管理者の氏名	静岡 次郎						_						さい(以下同様)。		
飼養衛生管理者の氏名 ※訂正欄									\						
	郵便番号 1	2	3	_	4	5	6	7							
飼養衛生管理者の住所	都道府	県	_	1		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
	静岡県				OOF	Ħ					ΔΖ	7			
	郵便番号			-		į	İ	İ							
飼養衛生管理者の住所 ※訂正欄	都道府	県		Ϊ		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
Ver H1 TTT livid															
	電子メール		(00	ΔΔ	<u>/@</u> (00	××	. j	р					
	電子メール ※訂正欄														
	携帯電話番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	4	※ハイフンなし左詰めで記 入		
67 No /hr / 1. 600 911 No 20 10 (A) (A)	携帯電話番号 ※訂正欄		 		<u> </u>	<u> </u>	 	i i		 		 	※ハイフンなし左詰めで記入		
飼養衛生管理者の連絡先	(電話番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(電話番号) ※訂正欄		<u> </u> 		 	İ	İ	İ	<u> </u> 	 	ļ	 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
	(FAX)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(FAX) ※訂正欄											# 15	※ハイフンかした詰めで記		
&= \(\frac{1}{2} \rightarrow	郵便番号 1	2	3	-	4	5	6	8				農場	の住所が上記と異なる場合、		
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道府	県		\perp			区町	村君				,	記入してください。 		
	静岡県	!	!		700 ;			:			××	<u> </u>			
飼養衛生管理者が管理する衛生	郵便番号	-	 	<u> </u>	 - 	+++=	17		1						
管理区域の住所 ※訂正欄	都道府	<u></u>				Ш	区町	<u> </u>	β				市区町村郡以降		
飼養衛生管理者の氏名															
飼養衛生管理者の氏名															
<u>※訂正欄</u>	郵便番号	i		i _	i	i	i	<u>. </u>							
飼養衛生管理者の住所	都道府	į	<u>: </u>	\vdash	<u>: </u>	<u> </u>	区町	木十尹	ĸ				市区町村郡以降		
两天南工日·左日·少江//	"耐风色/11"	<u> </u>				1117	<u></u>	7174	ls.				17年11年14月4月8八年		
	郵便番号	i	i I		i	i	i	i							
飼養衛生管理者の住所	都道府	<u>: </u> 県	<u>i </u>	T	<u>i </u>	市	: 区町	: 村君	ß				 市区町村郡以降		
※訂正欄															
	電子メール														
	電子メール ※訂正欄														
	携帯電話番号		<u> </u>		<u> </u>	<u>.</u>	į	<u>.</u>			į	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記入		
飼養衛生管理者の連絡先	携帯電話番号 ※訂正欄				 	 	 	 	 			 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
助食単生官 圧有 の圧裕 元	(電話番号)		ļ		<u> </u>	i 		i 	<u> </u>	i 	İ	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(電話番号) ※訂正欄			 		 - 		 - 	 	 	 		※ハイフンなし左詰めで記入		
	(FAX)					<u> </u> 		 				<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(FAX) ※訂正欄											 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
領差海州祭理学が祭理寺で伊	郵便番号	<u> </u>	<u> </u>	i _	į L	<u> </u>	 	 							
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道府	県		Ŧ		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
飼養衛生管理者が管理する衛生	郵便番号			-		į	į	į							
問受衛生自生有が自生する衛生 管理区域の住所 ※訂正欄	都道府	県	•		•	市	: 区町	村君	ß				市区町村郡以降		
				1							1				

記入例 豚 用

定期報告書

西暦 〇〇〇〇 年 〇月 〇日

都道府県知事 00 殿

経営体ID												
農場ID												
農場名	00)フ:	アー	ム								
農場名 ※訂正欄												
	1	2	3	! -	5	6	7	8				
住 所	者	邻道府	守県		市	区町村	†郡			市	区町村	村郡以降
	静岡	県		C	の市			Δ	Δ			
<i>(</i>			; 	-	į	į	i I	; 				
住所※訂正欄	者	邻道府	守県		市	区町村	寸郡			市	区町村	村郡以降
電子メール		(00	ΔΔ	7@(00.	ΔΔ	. ј	p			
電子メール ※訂正欄												
(電話番号)	1	2	 3	4	5	6	7	 8 	9	1	2	※ハイフンなし 左詰めで記入
(電話番号) ※訂正欄				 !	<u> </u>							※ハイフンなし 左詰めで記入
(FAX)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし 左詰めで記入
(FAX) ※訂正欄												※ハイフンなし 左詰めで記入

家畜伝染病予防法第12条の4第1項の規定により、以下のとおり報告します。

1. 基本情報

住所、氏名、電話番号、ファックス番号、

家畜の所有者の氏名	静岡 太郎	メールア	プドレスを記入してください。
家畜の所有者の氏名 ※訂正欄			
家畜の所有者の住所	郵便番号 1 2 3 - 3 - 3 1 -	市区町 都	市区町村郡以降
	静岡県	〇〇市	ΔΔ
家畜の所有者の住所 ※訂正欄	郵便番号	市区町村郡	市区町村郡以降

	電子メール		(00	ΔΔ	.@(002	ΔΔ	. j	р			
	電子メール ※訂正欄												
	携帯電話番号	1	2	3	 4	5	6	7	8	9	1	3	※ハイフンなし左詰めで記 入
<u></u>	携帯電話番号 ※訂正欄										<u> </u>	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記 入
家畜の所有者の連絡先	(電話番号)	1	2	3	 4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記 入
	(電話番号) ※訂正欄										!	 !	※ハイフンなし左詰めで記 入
	(FAX)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記 入
	(FAX) ※訂正欄		<u>.</u>								!	 	※ハイフンなし左詰めで記入
飼養衛生管理者	□ 家畜の所有を は記入は不要	者が	自ら	飼養	養衛 生	上管	理者	の場	合、	チ	エツ	クを	と付け飼養衛生管理者の情報
飼養衛生管理者の氏名			`										
飼養衛生管理者の氏名 ※訂正欄	_							別σ	方が	が農:	場を	管理	している場合、
	郵便番号		į	-	į	7	のカ	。 で	氏名.	.住	听、i	車絡	先を記入してください。
飼養衛生管理者の住所	都道府	県				Ţ							
	郵便番号	 		_									
飼養衛生管理者の住所 ※訂正欄	都道府	県				市	区町	村君	ß				市区町村郡以降
		-											
	電子メール												
	電子メール ※訂正欄												
	携帯電話番号										<u> </u>	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記入
飼養衛生管理者の連絡先	携帯電話番号 ※訂正欄		 		 				 		 	 	※ハイフンなし左詰めで記入
助食用生目生日の圧縮 元	(電話番号)												※ハイフンなし左詰めで記 入
	(電話番号) ※訂正欄												※ハイフンなし左詰めで記 入
	(FAX)									_	+ 140	ト ハ仕 i	所が上記と異なる場合、
	(FAX) ※訂正欄									/25	E-9J ∪		に記してください。
	郵便番号 1	2	3	_	4	5	6	8		_			
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道府	具				市	区町	村君	ß				市区町村郡以降
	静岡県			C)Oi	Ħ					××	<	
飼養衛生管理者が管理する衛生	郵便番号		<u> </u>	_									
管理区域の住所 ※訂正欄	都道府	具		1		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降
☆ □ 正佩													

乳用雌牛	成牛	育成牛	子牛		
3 G/1324E 1	頭	頭	頭		
肥育牛(乳用種の雄牛	成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛	
を除く。)	頭	頭	頭	頭	
肥育牛(乳用種の雄牛	成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛	
及い父雑種の午 に限る。)	頭	頭	頭	頭	
肉用繁殖生	成牛 (雄)	成牛(雌)	育成牛	子牛	
下17日末7世十	頭	月齢ごとに記入し	してください。 頭	頭	
BZ	雄豚	TARK TO THE PARTY OF THE PARTY	育成豚	肥育豚 (子豚を除く。)	子豚
Π⁄Δ ×	400 頭	2 頭	15 頭	8 頭	200 頭
	採卵	P鶏	肉田窪		
鶏	成鶏	育成鶏			
	EE	EK			
	馬	水牛	鹿	8070	山羊
	頭	頭	頭	頭	3 頭
馬その他	いのしし	うずら	あひる	きじ	だちょう
	頭	EK	医	EE	展
	ほろほろ鳥	七面鳥			
	KK	ĘĘ			
	33 (1)		の数を記入してくだ	ėtv.	
等の数		家畜のいる畜舎の		ėi,	
	(乳用種の雄牛 及を (乳が除い) (乳が限い) に限る。) 肉用繁殖牛 豚	乳用雌牛頭(別でない) (別でない) (別でない) (別でない) (別の女) (に限る。)(肥育後期の牛) (肥育後期の牛) (肥育後期の牛) (肥育後期の中) (肥育後期の中) (肥育後期の中) (肥育後期の中) (別の上間) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のしし) (別のし) (別のし) (別のし) (別のし) (別のし) (別のし) (別のし) (別のし) (別のし) (別のし) (別のし) 	乳用雌牛 頭 頭 RETAIL (配育件 (乳用種の雄牛 及び交雑種の牛 定限る。) (肥育後期の牛) 肥育前期の牛 (別用餐童の株件 及び交雑種の牛 に限る。) (肥育後期の牛) 肥育前期の牛 成牛 (雄) 成牛 (雌) 成牛 (雄) 成牛 (雌) 水牛 項 400 頭 2 頭 水牛 項 馬その他 項 羽	乳用雌牛 頭 頭 頭 肥育牛 (乳用種の雄牛及び交雑種の牛 に限る。) (肥育後期の牛) 肥育前期の牛 育成牛 内用繁殖牛 成牛(維) 京成牛 大牛 頭 頭 頭 大牛(北) 京成牛 頭 大牛(雄) 京成牛 頭 大牛(雄) 京成牛 頭 大牛(雄) 京成牛 頭 大牛(雄) 京成将 京成将 大牛(雄) 京成将 京成将 大牛(球) 京成将 京成将 大牛(球) 京成将 京の経費 大牛(球) 京成将 本の他の家畜の種類 大牛(球) 京ずら あひる 馬その他の頭 羽 羽 バのしし うずら あひる 馬その他の頭 羽 羽 別 羽 羽 別 別 羽	別用離牛 頭

注意 1 本報告書は、農場ごとに、家畜の所有者(当該所有者以外に家畜伝染病予防法第3条の管理者がある場合にあっては、当該管理者。以下この1において同じ。)が作成し、提出すること。なお、作成に当たって、所有者以外の者が家畜伝染病予防法第12条の3の2の飼養衛生管理者である場合にあっては、当該飼養衛生管理者に作成させることができる。

² 家畜の所有者は、「家畜の所有者の氏名」欄、「家畜の所有者の住所」欄及び「家畜の所有者の連絡先」欄を 記載すること。ただし、家畜の所有者以外に家畜伝染病予防法第3条の管理者がある場合、もしくは法人の場 合にあっては、家畜の所有者に代わり管理者もしくは法人の情報を記載すること。

- 3 家畜の所有者が自ら飼養衛生管理者となる場合については、「飼養衛生管理者の氏名」欄に「同上」と記載すること。この場合、「飼養衛生管理者の住所」欄、「飼養衛生管理者の連絡先」欄、「飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所」欄の記載は要さない。
- 4 衛生管理区域ごとに「飼養衛生管理者の氏名」欄、「飼養衛生管理者の住所」欄、「飼養衛生管理者の連絡 先」欄、「飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所」欄をそれぞれ記載すること。 その際、飼養衛生管理者が複数の場合は、本様式の1. 基本情報の該当欄に飼養衛生管理者を代表する者の 情報を記載し、その他の飼養衛生管理者の情報については、別紙の1-2. その他の飼養衛生管理者の欄に記載すること。なお、飼養衛生管理者が1人の場合は別紙の提出は必要ない。
- 5 報告の期日等について
- (1)報告事項は、その年の2月1日時点のものとすること。
- (2) 報告書の提出期限は、
 - イ牛・水牛・鹿・めん羊・山羊・豚・いのしし・馬の場合は、毎年4月15日 ロ鶏・あひる・うずら・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥の場合は、毎年6月15日
- 6 家畜の飼養頭羽数については、その年の2月1日時点において、同日前に家畜の出荷又は移動を行ったことにより、当該家畜の飼養頭羽数が通常よりも相当程度少ない場合にあっては、当該出荷又は移動を行った日の前日時点のものとすること。
- 7 「家畜の種類及び頭羽数」の欄における用語の意義は、次のとおりとする。
- (1)「乳用雌牛」において、「成牛」とは月齢が満24月以上のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月以上満24月未満のものをいい、「子牛」とは日齢が満10日以上で月齢が満4月未満のものをいう。
- (2) 「肥育牛(乳用種の雄牛及び交雑種の牛を除く。)」において、「成牛(肥育後期の牛)」とは月齢が満24 月以上のものをいい、「肥育前期の牛」とは月齢が満9月以上満24月未満のものをいい、「育成牛」とは月 齢が満4月以上満9月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (3) 「肥育牛(乳用種の雄牛及び交雑種の牛に限る。)」において、「成牛(肥育後期の牛)」とは月齢が満17 月以上のものをいい、「肥育前期の牛」とは月齢が満7月以上満17月未満のものをいい、「育成牛」とは月 齢が満4月以上満7月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (4)「肉用繁殖牛」において、「成牛」とは月齢が満24月以上のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月以上 満24月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (5) 「子豚」とは、離乳した豚であって月齢が満3月未満のものをいう。
- (6)「繁殖豚」において、「雄豚」及び「雌豚」とは月齢が満12月以上のものをいい、「育成豚」とは月齢が満3月以上満12月未満のものをいう。
- (7)「採卵鶏」において、「成鶏」とは日齢が満150日以上のものをいい、「育成鶏」とは日齢が満150日未満の ものをいう。
- 8 「2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況」については、飼養する家畜の種類に対応する様式(1)から(4)までの間から選択し、記載すること。また、「飼養衛生管理基準遵守状況の添付資料一覧」に掲げた資料を添付すること。ただし、家畜伝染病予防法施行規則第21条の6において、報告事項が同条第1号、第2号及び第5号に掲げる事項に限定されている者(※)は、「1. 基本情報のうち、畜舎等の数」及び「2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況」の報告並びに「添付書類」の提出は不要である。
- 9 報告いただいた家畜の所有者の氏名又は名称及び連絡先並びに飼養衛生管理者の氏名及び連絡先については、家畜衛生に関する情報の迅速な共有等を目的として、農林水産省に共有します。 また、法令に基づき農林水産省から家畜の所有者に関する情報についての報告を求められた場合には、報告いただいた内容の全部又は一部を同省に提供することがあります。
- 10 報告いただいた内容のうち、家畜伝染病予防法施行規則第21の6で定める事項については、家畜伝染病予防法 第12条の4の2の規定に基づき、都道府県から当該家畜の所在地を管轄する市町村へ通知いたします。
- ※ 家畜伝染病予防法施行規則第21条の6において、報告事項が同条第1号、第2号及び第5号に掲げる事項 に限定されている者とは、次の各号に掲げる家畜の所有者について、それぞれ当該各号に定める頭羽数の家 畜の所有者をいう。
- (1) 牛・水牛・馬の場合 1頭
- (2) 鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 6頭未満
- (3) 鶏・あひる・うずら・きじ・ほろほろ鳥・七面鳥の場合 100羽未満
- (4) だちょうの場合 10羽未満

										1½ に.	基本/ 複数	情報 ケ人を	」に記載した管理者以外 管理者を設置する場合、		
飼養衛生管理者の氏名	静岡 次郎						_						さい(以下同様)。		
飼養衛生管理者の氏名 ※訂正欄									\						
	郵便番号 1	2	3	_	4	5	6	7							
飼養衛生管理者の住所	都道府	県	_	1		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
	静岡県				OOF	Ħ					ΔΖ	7			
	郵便番号			-		į	İ	İ							
飼養衛生管理者の住所 ※訂正欄	都道府	県		Ϊ		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
Ver H-1 Ilud															
	電子メール		(00	ΔΔ	<u>/@</u> (00	××	. j	р					
	電子メール ※訂正欄														
	携帯電話番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	4	※ハイフンなし左詰めで記 入		
67 No /hr / 1. 600 911 No 20 10 (A) (A)	携帯電話番号 ※訂正欄		 		<u> </u>	<u> </u>	 	i i				 	※ハイフンなし左詰めで記入		
飼養衛生管理者の連絡先	(電話番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(電話番号) ※訂正欄		<u> </u> 		 	İ	İ	İ	<u> </u> 	 	ļ	 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
	(FAX)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(FAX) ※訂正欄											# 15	※ハイフンかした詰めで記		
&= \(\frac{1}{2} \rightarrow	郵便番号 1	2	3	-	4	5	6	8				農場	の住所が上記と異なる場合、		
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道府	県		\perp			区町	村君				,	記入してください。 		
	静岡県	!	!		70c			:			××	<u> </u>			
飼養衛生管理者が管理する衛生	郵便番号	-	 	<u> </u>	 - 	+++=	17		1						
管理区域の住所 ※訂正欄	都道府	<u></u>				Ш	区町	<u> </u>	β				市区町村郡以降		
飼養衛生管理者の氏名															
飼養衛生管理者の氏名															
<u>※訂正欄</u>	郵便番号	i		i _	i	i	i	<u>. </u>							
飼養衛生管理者の住所	都道府	į	<u>: </u>	\vdash	<u>: </u>	<u> </u>	区町	木十尹	ĸ				市区町村郡以降		
两天南工日·左日·少江//	"耐风色/11"	<u> </u>				1117	<u> </u>	7174	ls.				17年11年14月4月8八年		
	郵便番号	i	i I		i	i	i	i							
飼養衛生管理者の住所	都道府	<u>: </u> 県	<u>i </u>	T	<u>i </u>	市	: 区町	: 村君	ß				 市区町村郡以降		
※訂正欄															
	電子メール														
	電子メール ※訂正欄														
	携帯電話番号		<u> </u>		<u> </u>	<u>.</u>	į	<u>.</u>			į	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記入		
飼養衛生管理者の連絡先	携帯電話番号 ※訂正欄				 	 	 	 	 			 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
助食単生官 圧有 の圧裕 元	(電話番号)		ļ		<u> </u>	i 		i 	<u> </u>	i 	İ	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(電話番号) ※訂正欄			 		 - 		 	 	 	 		※ハイフンなし左詰めで記入		
	(FAX)					<u> </u> 		 				<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(FAX) ※訂正欄											 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
領差海州祭理学が祭理寺で伊	郵便番号	<u> </u>	<u> </u>	i _	į L	<u> </u>	 	 							
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道府	県		Ŧ		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
飼養衛生管理者が管理する衛生	郵便番号			-		į	į	į							
問受衛生自生有が自生する衛生 管理区域の住所 ※訂正欄	都道府	県	•		•	市	: 区町	村君	ß				市区町村郡以降		
				1							1				

記入例 家きん 用

定期報告書

西暦 〇〇〇〇 年 〇月 〇日

都道府県知事 00 殿

経営体ID												
農場ID												
農場名	00)フ:	アー	ム								
農場名 ※訂正欄												
	1	2	3	! -	5	6	7	8				
住 所	扌	邻道府	守県		市	三 町木	寸郡			市	三町	村郡以降
	静岡	県		C	〇市	,		Δ	Δ			
<i>⇔</i> =r				-								
住所※訂正欄	者	邻道府	守県		市	区町村	寸郡			市	区町	村郡以降
電子メール		(00	ΔΔ	7@(00.	ΔΔ	. ј	р			
電子メール ※訂正欄												
(電話番号)	1	2	3	 4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし 左詰めで記入
(電話番号) ※訂正欄			!	 !		!		!		!	 !	※ハイフンなし 左詰めで記入
(FAX)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし 左詰めで記入
(FAX) ※訂正欄												※ハイフンなし 左詰めで記入

家畜伝染病予防法第12条の4第1項の規定により、以下のとおり報告します。

1. 基本情報

住所、氏名、電話番号、ファックス番号、

家畜の所有者の氏名	静岡 太郎	メールフ	ドレスを記入してください。
家畜の所有者の氏名 ※訂正欄			
	2,042 3 2 2	- 4 5 6 7	
家畜の所有者の住所	都道府県	市区町	市区町村郡以降
	静岡県	00市	ΔΔ
ウェルデナゼルルデ	郵便番号	-	
家畜の所有者の住所 ※訂正欄	都道府県	市区町村郡	市区町村郡以降
☆ □1 11-1 関			

	電子メール		(00	ΔΔ	.@(002	ΔΔ	. j	р			
	電子メール ※訂正欄												
	携帯電話番号	1	2	3	 4	5	6	7	8	9	1	3	※ハイフンなし左詰めで記 入
<u></u>	携帯電話番号 ※訂正欄										<u> </u>	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記 入
家畜の所有者の連絡先	(電話番号)	1	2	3	 4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記 入
	(電話番号) ※訂正欄										!	 !	※ハイフンなし左詰めで記 入
	(FAX)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記 入
	(FAX) ※訂正欄		<u>.</u>								!	 	※ハイフンなし左詰めで記入
飼養衛生管理者	□ 家畜の所有を は記入は不要	者が	自ら	飼養	養衛 生	上管	理者	の場	合、	チ	エツ	クを	と付け飼養衛生管理者の情報
飼養衛生管理者の氏名			`										
飼養衛生管理者の氏名 ※訂正欄	_							別σ	方が	が農:	場を	管理	している場合、
	郵便番号		į	-	į	7	のカ	。 で	氏名.	.住	听、i	車絡	先を記入してください。
飼養衛生管理者の住所	都道府	県				Ţ							
	郵便番号	 		_									
飼養衛生管理者の住所 ※訂正欄	都道府	県				市	区町	村君	ß				市区町村郡以降
		_											
	電子メール												
	電子メール ※訂正欄												
	携帯電話番号										<u> </u>	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記入
飼養衛生管理者の連絡先	携帯電話番号 ※訂正欄		 		 				 		 	 	※ハイフンなし左詰めで記入
助食用生目生日の圧縮 元	(電話番号)												※ハイフンなし左詰めで記 入
	(電話番号) ※訂正欄												※ハイフンなし左詰めで記 入
	(FAX)									_	+ 140	ト ハ仕i	所が上記と異なる場合、
	(FAX) ※訂正欄									/25	E-9J ∪		けんしてください。
	郵便番号 1	2	3	_	4	5	6	8		_			
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道府	具				市	区町	村君	ß				市区町村郡以降
	静岡県			C)Oi	Ħ					××	<	
飼養衛生管理者が管理する衛生	郵便番号		<u> </u>	_									
管理区域の住所 ※訂正欄	都道府	具		1		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降
☆ □ 正佩													

	乳用雌牛	成牛	育成牛	子牛		
	13/11/12	頭	頭	頭		
	肥育牛(乳用種の雄牛	成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛	
	及び交雑種の牛 を除く。)	頭	頭	頭	頭	
	肥育牛 (乳用種の雄牛	成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛	
	及び交雑種の牛 に限る。)	頭	頭	頭	頭	
家畜の種類	肉用繁殖牛	成牛 (雄)	成牛 (雌)	育成牛	子牛	
及び頭羽数		頭	頭	頭	頭	
			繁殖豚		肥育豚	子豚
	豚	雄豚	母豚	育成豚	(子豚を除く。)	丁水
		頭	頭	頭	頭	頭
	鶏	成鶏	P鶏 育成鶏	肉用鶏		
	749	32,000 羽	KK	羽		
		馬		畜がいる場合は、	めん羊	山羊
		頭	家畜の種類と数	数を記入してください	"。	頭
	馬その他	いのしし	うず	あひる	きじ	だちょう
	,,, C III	頭	5 羽	EK	EE	羽
家畜のいる畜	舎の数を記入してく	ださい。	七面鳥			
(堆肥舎	・倉庫は除きます。) 羽	羽	ふ卵舎がある場		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	等の数	畜舎	ふ卵舎 🥒	記入してく	J. Cov'.	
— —		1 舎	5 舎			

注意 1 本報告書は、農場ごとに、家畜の所有者(当該所有者以外に家畜伝染病予防法第3条の管理者がある場合にあっては、当該管理者。以下この1において同じ。)が作成し、提出すること。なお、作成に当たって、所有者以外の者が家畜伝染病予防法第12条の3の2の飼養衛生管理者である場合にあっては、当該飼養衛生管理者に作成させることができる。

² 家畜の所有者は、「家畜の所有者の氏名」欄、「家畜の所有者の住所」欄及び「家畜の所有者の連絡先」欄を 記載すること。ただし、家畜の所有者以外に家畜伝染病予防法第3条の管理者がある場合、もしくは法人の場 合にあっては、家畜の所有者に代わり管理者もしくは法人の情報を記載すること。

- 3 家畜の所有者が自ら飼養衛生管理者となる場合については、「飼養衛生管理者の氏名」欄に「同上」と記載すること。この場合、「飼養衛生管理者の住所」欄、「飼養衛生管理者の連絡先」欄、「飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所」欄の記載は要さない。
- 4 衛生管理区域ごとに「飼養衛生管理者の氏名」欄、「飼養衛生管理者の住所」欄、「飼養衛生管理者の連絡 先」欄、「飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所」欄をそれぞれ記載すること。 その際、飼養衛生管理者が複数の場合は、本様式の1. 基本情報の該当欄に飼養衛生管理者を代表する者の 情報を記載し、その他の飼養衛生管理者の情報については、別紙の1-2. その他の飼養衛生管理者の欄に記載すること。なお、飼養衛生管理者が1人の場合は別紙の提出は必要ない。
- 5 報告の期日等について
- (1)報告事項は、その年の2月1日時点のものとすること。
- (2) 報告書の提出期限は、
 - イ牛・水牛・鹿・めん羊・山羊・豚・いのしし・馬の場合は、毎年4月15日 ロ鶏・あひる・うずら・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥の場合は、毎年6月15日
- 6 家畜の飼養頭羽数については、その年の2月1日時点において、同日前に家畜の出荷又は移動を行ったことにより、当該家畜の飼養頭羽数が通常よりも相当程度少ない場合にあっては、当該出荷又は移動を行った日の前日時点のものとすること。
- 7 「家畜の種類及び頭羽数」の欄における用語の意義は、次のとおりとする。
- (1)「乳用雌牛」において、「成牛」とは月齢が満24月以上のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月以上満24月未満のものをいい、「子牛」とは日齢が満10日以上で月齢が満4月未満のものをいう。
- (2) 「肥育牛(乳用種の雄牛及び交雑種の牛を除く。)」において、「成牛(肥育後期の牛)」とは月齢が満24 月以上のものをいい、「肥育前期の牛」とは月齢が満9月以上満24月未満のものをいい、「育成牛」とは月 齢が満4月以上満9月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (3) 「肥育牛(乳用種の雄牛及び交雑種の牛に限る。)」において、「成牛(肥育後期の牛)」とは月齢が満17 月以上のものをいい、「肥育前期の牛」とは月齢が満7月以上満17月未満のものをいい、「育成牛」とは月 齢が満4月以上満7月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (4)「肉用繁殖牛」において、「成牛」とは月齢が満24月以上のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月以上 満24月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (5) 「子豚」とは、離乳した豚であって月齢が満3月未満のものをいう。
- (6)「繁殖豚」において、「雄豚」及び「雌豚」とは月齢が満12月以上のものをいい、「育成豚」とは月齢が満3月以上満12月未満のものをいう。
- (7)「採卵鶏」において、「成鶏」とは日齢が満150日以上のものをいい、「育成鶏」とは日齢が満150日未満の ものをいう。
- 8 「2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況」については、飼養する家畜の種類に対応する様式(1)から(4)までの間から選択し、記載すること。また、「飼養衛生管理基準遵守状況の添付資料一覧」に掲げた資料を添付すること。ただし、家畜伝染病予防法施行規則第21条の6において、報告事項が同条第1号、第2号及び第5号に掲げる事項に限定されている者(※)は、「1. 基本情報のうち、畜舎等の数」及び「2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況」の報告並びに「添付書類」の提出は不要である。
- 9 報告いただいた家畜の所有者の氏名又は名称及び連絡先並びに飼養衛生管理者の氏名及び連絡先については、家畜衛生に関する情報の迅速な共有等を目的として、農林水産省に共有します。 また、法令に基づき農林水産省から家畜の所有者に関する情報についての報告を求められた場合には、報告いただいた内容の全部又は一部を同省に提供することがあります。
- 10 報告いただいた内容のうち、家畜伝染病予防法施行規則第21の6で定める事項については、家畜伝染病予防法 第12条の4の2の規定に基づき、都道府県から当該家畜の所在地を管轄する市町村へ通知いたします。
- ※ 家畜伝染病予防法施行規則第21条の6において、報告事項が同条第1号、第2号及び第5号に掲げる事項 に限定されている者とは、次の各号に掲げる家畜の所有者について、それぞれ当該各号に定める頭羽数の家 畜の所有者をいう。
- (1) 牛・水牛・馬の場合 1頭
- (2) 鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 6頭未満
- (3) 鶏・あひる・うずら・きじ・ほろほろ鳥・七面鳥の場合 100羽未満
- (4) だちょうの場合 10羽未満

										1½ に.	基本/ 複数	情報 ケ人を	」に記載した管理者以外 管理者を設置する場合、		
飼養衛生管理者の氏名	静岡 次郎						_						さい(以下同様)。		
飼養衛生管理者の氏名 ※訂正欄									\						
	郵便番号 1	2	3	-	4	5	6	7							
飼養衛生管理者の住所	都道府	県	_			市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
	静岡県			C	OOF	Ħ					ΔΖ	7			
	郵便番号			-		į	İ	İ							
飼養衛生管理者の住所 ※訂正欄	都道府	県				市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
Ver H1 TTT llud															
	電子メール		(00	ΔΔ	7@(00	××	. j	р					
	電子メール ※訂正欄														
	携帯電話番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	4	※ハイフンなし左詰めで記 入		
67 No At At 11, 600 1111 11 11 11 11 11 11 11 11	携帯電話番号 ※訂正欄		 		<u> </u>	 	 	i i				 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
飼養衛生管理者の連絡先	(電話番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記 入		
	(電話番号) ※訂正欄		<u> </u> 		 	i I	İ	İ	i i	 	ļ	 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
	(FAX)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記 入		
	(FAX) ※訂正欄											# 15	※ハイフンかした詰めで記		
&= \(\frac{1}{2}\) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	郵便番号 1	2	3	-	4	5	6	8				農場	の住所が上記と異なる場合、 記入してください。		
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道府県 静岡県				市区町村郡						EXC CV2av				
		ı	1		1	ļ1	l I	I			^ /				
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	郵便番号 都道府		 	-	 	<u> </u>		 	17				市区町村郡以降		
※訂正欄	静 起初外				市区町村郡						11 12 17 17 11 11 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20				
飼養衛生管理者の氏名															
飼養衛生管理者の氏名															
<u>※訂正欄</u>	郵便番号			_		i	<u> </u>	<u> </u>							
飼養衛生管理者の住所	都道府	<u>-</u> 県	!	T	!	市	<u>.</u> 区町	<u>.</u> 村君	ß				市区町村郡以降		
	HI ACATA	,,,				.,,		14 6							
	郵便番号	i	<u>;</u>		i	i	i	i İ							
飼養衛生管理者の住所 ※ボエ堋	都道府	<u>.</u> 県	<u>i </u>		市区町村郡						市区町村郡以降				
※訂正欄															
	電子メール														
	電子メール ※訂正欄														
	携帯電話番号		<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	į	<u>.</u>			į	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記 入		
飼養衛生管理者の連絡先	携帯電話番号 ※訂正欄				 	 	 	 	 			 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
助養単生官 垤有 の 産 桁 元	(電話番号)		ļ		<u> </u>	<u> </u>		i 	<u> </u>	i 	İ	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(電話番号) ※訂正欄		 		 	 	 	 	 	 		 	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(FAX)		<u> </u> 		<u> </u>	<u> </u>	!	 !	<u> </u>	! !	<u> </u>	! !	※ハイフンなし左詰めで記 入		
	(FAX) ※訂正欄		 			 	 	 	 	 	<u> </u>	 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
臼美海升淬四支水淬四上, 在1.	郵便番号	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	 [-	 		_	_				
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道府	県		-		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
飼養衛生管理者が管理する衛生	郵便番号			-											
明長衛生官珪有が官珪りる衛生 管理区域の住所 ※訂正欄	都道府	県		-	-	市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
(日) 北州				- 1							i				

記入例 馬 用

定期報告書

西暦 〇〇〇〇 年 〇月 〇日

都道府県知事 00 殿

経営体ID													
農場ID													
農場名	00)フ:	ァー	ム									
農場名 ※訂正欄													
	1	1 2 3 - 5 6 7 8											
住 所	者	邻道府	守県		市	区町村	†郡			市	区町村	村郡以降	
	静岡	県		C	の市			Δ	Δ				
<i>(</i>		-											
住所※訂正欄	者	邻道风	守県		市	区町村	寸郡			市	区町村	村郡以降	
電子メール		(00	ΔΔ	7@(00.	ΔΔ	. ј	p				
電子メール ※訂正欄													
(電話番号)	1	2	 3	4	5	6	7	 8 	9	1	2	※ハイフンなし 左詰めで記入	
(電話番号) ※訂正欄				 !	<u> </u>							※ハイフンなし 左詰めで記入	
(FAX)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし 左詰めで記入	
(FAX) ※訂正欄												※ハイフンなし 左詰めで記入	

家畜伝染病予防法第12条の4第1項の規定により、以下のとおり報告します。

1. 基本情報

住所、氏名、電話番号、ファックス番号、

家畜の所有者の氏名	静岡 太郎	メールア	がレスを記入してください。 		
家畜の所有者の氏名 ※訂正欄					
	郵便番号 1 2 3	- 4 5 6 7			
家畜の所有者の住所	都道府県	市区町都	市区町村郡以降		
	静岡県	00市	ΔΔ		
	郵便番号	-			
家畜の所有者の住所 ※訂正欄	郵便番号	市区町村郡	市区町村郡以降		

	電子メール			00	ΔΔ	7 @(00	ΔΔ	. ј	р						
	電子メール ※訂正欄															
	携帯電話番号	÷ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	3	※ハイフンなし左詰めで記 入			
	携帯電話番号 ※訂正欄	-		İ				 		 	<u> </u>		※ハイフンなし左詰めで記 入			
家畜の所有者の連絡先	(電話番号)	1	2	3	¦ 4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記 入			
	(電話番号) ※訂正欄			İ			 	 	 	 	 	 	※ハイフンなし左詰めで記 入			
	(FAX)	1	2	3	 4	5	6	7	8	9	1	 2	※ハイフンなし左詰めで記 入			
	(FAX) ※訂正欄		į		<u> </u>	 	 	 -	 -	 -	<u>.</u>	 -	※ハイフンなし左詰めで記 入			
飼養衛生管理者	□ 家畜の所有 は記入は不要		自ら	飼建	を衛生	主管	理者	の場	合、	チ	エツ	クを	と付け飼養衛生管理者の情報			
飼養衛生管理者の氏名	, , , , , , , , ,															
飼養衛生管理者の氏名 ※訂正欄								別σ.	方力	が農	場を	管理	している場合、			
	郵便番号	į	İ	ļ -		7	のオ	うのE	氏名.	、住i	听、i	車絡	先を記入してください。			
飼養衛生管理者の住所	都道府	守県	-			7										
	郵便番号	-														
飼養衛生管理者の住所 ※訂正欄	都道原	守県			市区町村郡						市区町村郡以降					
76 HJ 11-11M																
	電子メール															
	電子メール ※訂正欄															
	携帯電話番号	-					 	<u> </u>		 		 	※ハイフンなし左詰めで記 入			
	携帯電話番号 ※訂正欄	7				<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			※ハイフンなし左詰めで記			
飼養衛生管理者の連絡先	(電話番号)			<u> </u>		<u> </u>	 	<u> </u> 	<u> </u>	 	 	 	※ハイフンなし左詰めで記			
	(電話番号) ※訂正欄		<u> </u>				<u>. </u>	<u>. </u>		<u>. </u>	 	: :	※ハイフンなし左詰めで記 入			
	(FAX)		<u> </u>			<u> </u>	 	 	<u> </u>		-	! -	下 記			
	(FAX) ※訂正欄		 	 	 	 	 	 		農	፟場の		所が上記と異なる場合、 記 けしてください。			
		1 2	3	-	4	5	6	8				nL.				
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道序	5県				市	区町	· 村君	ß				市区町村郡以降			
H	静岡県				O	Ħ					××	<				
飼養衛生管理者が管理する衛生	郵便番号	į		-		<u> </u>										
管理区域の住所	都道府	守県	1	1	1	市	区町	· 村君	ß				市区町村郡以降			
※訂正欄																

	乳用雌牛	成牛	育成牛	子牛		
	3 p./ 13 seft 1	頭	頭	頭		
	肥育牛(乳用種の雄牛	成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛	
	及び交雑種の牛 を除く。)	頭	頭	頭	頭	
	肥育牛 (乳用種の雄牛	成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛	
	及び交雑種の牛 に限る。)	頭	頭	頭	頭	
家畜の種類	肉用繁殖牛	成牛(雄)	成牛(雌)	育成牛	子牛	
及び頭羽数	四川米川	頭	頭	頭	頭	
			繁殖豚		肥育豚	→ 07:
	豚	雄豚	母豚	育成豚	(子豚を除く。)	子豚
		頭	頭	頭	頭	頭
		採卵	7鶏	肉用鶏		
	鶏	成鶏	育成鶏	内川病		
	Neg	羽	羽	採		
		馬		畜がいる場合は、	めん羊	山羊
		30 頭	家畜の種類と数	牧を記入してください	v.	3 頭
	馬その他	いのしし	うずら	あひる	きじ	だちょう
	,,, c -> L	頭	羽	KK	KE	羽
		ほろほろ鳥	七面鳥			
		RK	羽			
	等の数	畜舎 🗸	ふ卵舎		舎の建物の数を記 <i>り</i> 舎・倉庫は除きます	
m H		5 舎	舎	(-11/15)		<u> </u>

注意 1 本報告書は、農場ごとに、家畜の所有者(当該所有者以外に家畜伝染病予防法第3条の管理者がある場合にあっては、当該管理者。以下この1において同じ。)が作成し、提出すること。なお、作成に当たって、所有者以外の者が家畜伝染病予防法第12条の3の2の飼養衛生管理者である場合にあっては、当該飼養衛生管理者に作成させることができる。

² 家畜の所有者は、「家畜の所有者の氏名」欄、「家畜の所有者の住所」欄及び「家畜の所有者の連絡先」欄を 記載すること。ただし、家畜の所有者以外に家畜伝染病予防法第3条の管理者がある場合、もしくは法人の場 合にあっては、家畜の所有者に代わり管理者もしくは法人の情報を記載すること。

- 3 家畜の所有者が自ら飼養衛生管理者となる場合については、「飼養衛生管理者の氏名」欄に「同上」と記載すること。この場合、「飼養衛生管理者の住所」欄、「飼養衛生管理者の連絡先」欄、「飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所」欄の記載は要さない。
- 4 衛生管理区域ごとに「飼養衛生管理者の氏名」欄、「飼養衛生管理者の住所」欄、「飼養衛生管理者の連絡 先」欄、「飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所」欄をそれぞれ記載すること。 その際、飼養衛生管理者が複数の場合は、本様式の1. 基本情報の該当欄に飼養衛生管理者を代表する者の 情報を記載し、その他の飼養衛生管理者の情報については、別紙の1-2. その他の飼養衛生管理者の欄に記載すること。なお、飼養衛生管理者が1人の場合は別紙の提出は必要ない。
- 5 報告の期日等について
- (1)報告事項は、その年の2月1日時点のものとすること。
- (2) 報告書の提出期限は、
 - イ牛・水牛・鹿・めん羊・山羊・豚・いのしし・馬の場合は、毎年4月15日 ロ鶏・あひる・うずら・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥の場合は、毎年6月15日
- 6 家畜の飼養頭羽数については、その年の2月1日時点において、同日前に家畜の出荷又は移動を行ったことにより、当該家畜の飼養頭羽数が通常よりも相当程度少ない場合にあっては、当該出荷又は移動を行った日の前日時点のものとすること。
- 7 「家畜の種類及び頭羽数」の欄における用語の意義は、次のとおりとする。
- (1)「乳用雌牛」において、「成牛」とは月齢が満24月以上のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月以上満24月未満のものをいい、「子牛」とは日齢が満10日以上で月齢が満4月未満のものをいう。
- (2) 「肥育牛(乳用種の雄牛及び交雑種の牛を除く。)」において、「成牛(肥育後期の牛)」とは月齢が満24 月以上のものをいい、「肥育前期の牛」とは月齢が満9月以上満24月未満のものをいい、「育成牛」とは月 齢が満4月以上満9月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (3) 「肥育牛(乳用種の雄牛及び交雑種の牛に限る。)」において、「成牛(肥育後期の牛)」とは月齢が満17 月以上のものをいい、「肥育前期の牛」とは月齢が満7月以上満17月未満のものをいい、「育成牛」とは月 齢が満4月以上満7月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (4)「肉用繁殖牛」において、「成牛」とは月齢が満24月以上のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月以上 満24月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。
- (5) 「子豚」とは、離乳した豚であって月齢が満3月未満のものをいう。
- (6)「繁殖豚」において、「雄豚」及び「雌豚」とは月齢が満12月以上のものをいい、「育成豚」とは月齢が満3月以上満12月未満のものをいう。
- (7)「採卵鶏」において、「成鶏」とは日齢が満150日以上のものをいい、「育成鶏」とは日齢が満150日未満の ものをいう。
- 8 「2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況」については、飼養する家畜の種類に対応する様式(1)から(4)までの間から選択し、記載すること。また、「飼養衛生管理基準遵守状況の添付資料一覧」に掲げた資料を添付すること。ただし、家畜伝染病予防法施行規則第21条の6において、報告事項が同条第1号、第2号及び第5号に掲げる事項に限定されている者(※)は、「1. 基本情報のうち、畜舎等の数」及び「2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況」の報告並びに「添付書類」の提出は不要である。
- 9 報告いただいた家畜の所有者の氏名又は名称及び連絡先並びに飼養衛生管理者の氏名及び連絡先については、家畜衛生に関する情報の迅速な共有等を目的として、農林水産省に共有します。 また、法令に基づき農林水産省から家畜の所有者に関する情報についての報告を求められた場合には、報告いただいた内容の全部又は一部を同省に提供することがあります。
- 10 報告いただいた内容のうち、家畜伝染病予防法施行規則第21の6で定める事項については、家畜伝染病予防法 第12条の4の2の規定に基づき、都道府県から当該家畜の所在地を管轄する市町村へ通知いたします。
- ※ 家畜伝染病予防法施行規則第21条の6において、報告事項が同条第1号、第2号及び第5号に掲げる事項 に限定されている者とは、次の各号に掲げる家畜の所有者について、それぞれ当該各号に定める頭羽数の家 畜の所有者をいう。
- (1) 牛・水牛・馬の場合 1頭
- (2) 鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 6頭未満
- (3) 鶏・あひる・うずら・きじ・ほろほろ鳥・七面鳥の場合 100羽未満
- (4) だちょうの場合 10羽未満

										1½ に.	基本/ 複数	情報 ケ人を	」に記載した管理者以外 管理者を設置する場合、		
飼養衛生管理者の氏名	静岡 次郎						_						さい(以下同様)。		
飼養衛生管理者の氏名 ※訂正欄									\						
	郵便番号 1	2	3	-	4	5	6	7							
飼養衛生管理者の住所	都道府	県	_			市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
	静岡県			C	OOF	Ħ					ΔΖ	7			
	郵便番号			-		į	İ	İ							
飼養衛生管理者の住所 ※訂正欄	都道府	県				市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
Ver H1 TTT llud															
	電子メール		(00	ΔΔ	7@(00	××	. j	р					
	電子メール ※訂正欄														
	携帯電話番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	4	※ハイフンなし左詰めで記 入		
67 No At At 11, 600 1111 11 11 11 11 11 11 11 11	携帯電話番号 ※訂正欄		 		<u> </u>	 	i i	i i		 		 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
飼養衛生管理者の連絡先	(電話番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記 入		
	(電話番号) ※訂正欄		<u> </u> 		 	i I	İ	İ	i i	 	ļ	 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
	(FAX)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	※ハイフンなし左詰めで記 入		
	(FAX) ※訂正欄											# 15	※ハイフンかした詰めで記		
&= \(\frac{1}{2}\) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	郵便番号 1	2	3	-	4	5	6	8				農場	の住所が上記と異なる場合、 記入してください。		
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道府県 静岡県				市区町村郡						EXC CV2av				
		1	1		1	ļ1	l I	I			^ /				
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	郵便番号 都道府		 	-	 	<u> </u>		 	17				市区町村郡以降		
※訂正欄	静 起初外				市区町村郡						11 12 17 17 11 11 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20				
飼養衛生管理者の氏名															
飼養衛生管理者の氏名															
<u>※訂正欄</u>	郵便番号			_		i	<u> </u>	<u> </u>							
飼養衛生管理者の住所	都道府	<u>-</u> 県	!	T	!	市	<u>.</u> 区町	<u>.</u> 村君	ß				市区町村郡以降		
	HI ACATA	,,,				.,,		14 6							
	郵便番号	i	<u>;</u>		i	i	i	i İ							
飼養衛生管理者の住所 ※ボエ堋	都道府	<u>.</u> 県	<u>i </u>		市区町村郡						市区町村郡以降				
※訂正欄															
	電子メール														
	電子メール ※訂正欄														
	携帯電話番号		<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	į	<u>.</u>			į	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記 入		
飼養衛生管理者の連絡先	携帯電話番号 ※訂正欄				 	 	 	 	 			 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
助養単生官 垤有 の 産 桁 元	(電話番号)		ļ		<u> </u>	<u> </u>		i 	<u> </u>	i 	İ	<u> </u>	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(電話番号) ※訂正欄		 		 	 	 	 	 	 		 	※ハイフンなし左詰めで記入		
	(FAX)		<u> </u> 		<u> </u>	<u> </u>	 !	 !	<u> </u>	! !	<u> </u>	! !	※ハイフンなし左詰めで記 入		
	(FAX) ※訂正欄		 			 	 	 	 	 	<u> </u>	 	※ハイフンなし左詰めで記 入		
臼美海升淬四支水淬四上, 在1.	郵便番号	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	 [-	 		_	_				
飼養衛生管理者が管理する衛生 管理区域の住所	都道府	県		-		市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
飼養衛生管理者が管理する衛生	郵便番号			-				<u> </u>							
明長衛生官珪有が官珪りる衛生 管理区域の住所 ※訂正欄	都道府	県		-	-	市	区町	村君	ß				市区町村郡以降		
(日) 北州				- 1							i				

定期報告書の添付書類

記入例

令和 年 月 日

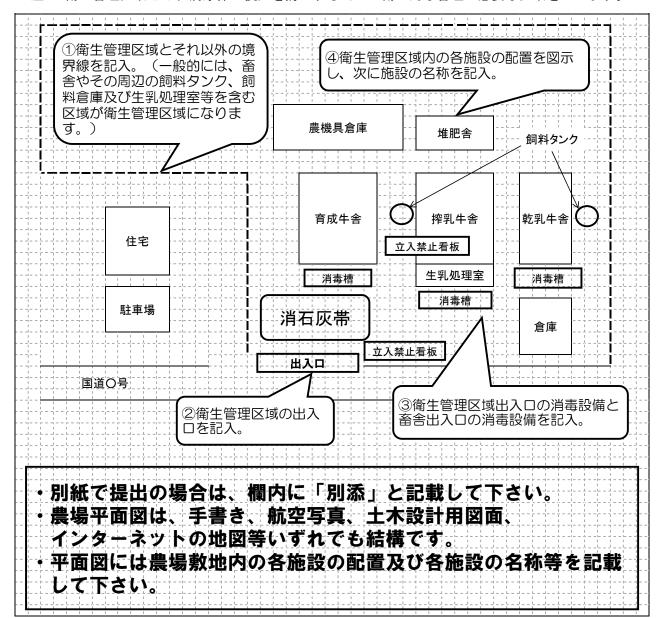
農場の名称又は所有者名:

農場の所在地

1農場の平面図

農場の平面図を作成し、次の記載事項について図面内に明示してください。

- ①衛生管理区域^{注1}(衛生管理区域とそれ以外の区域を区分する境界線を記載してください。)
- ②衛生管理区域の出入口
- ③消毒設備の設置箇所(衛生管理区域及び畜舎の出入口に設置した踏込消毒槽・動噴等の消毒設備)
- ④各施設の配置及び名称(畜舎、立入禁止看板、飼料タンクや飼料保管施設、堆肥舎、 家畜の排せつ物保管施設、農機具保管庫、生乳処理室、パドック、GPセンター等)
- 注1 衛生管理区域とは、病原体の侵入を防止するために衛生的な管理が必要な区域をいいます。



	立ち入らせないようにするとともに、衛生管理 家畜に接触する機会を最小限とするために講じ								
○措置の内容について□にチェック印を記入し	してください。(複数回答可)								
◆衛生管理区域に立ち入らせない方法									
▼衛生管理区域の出入口付近に立入禁止:	等の看板を設置								
■衛生管理区域の出入口にゲートを設置									
▼ 柵・ロープ・白線・プランター等による衛生管理区域と他の区域との区分									
その他(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
◆衛生管理区域に立ち入った者が家畜に接	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								
▼ 畜舎出入口に看板を設置	戸締まり □畜舎の施錠 □監視カメラ								
□その他()								
3 衛生管理区域及び畜舎等の出入口付近に設置した消毒設備の種類 ○消毒設備について口にチェック印を記入してください。(複数回答可) ◆衛生管理区域の出入口の車両消毒 ※消石灰帯 ※消毒薬噴霧器 □車両用消毒槽 □車両用消毒ゲート ※消毒マット その他(・) ◆畜舎等の出入口の人の消毒 ※踏込消毒槽 ※消毒薬噴霧器 □消毒マット ※手指消毒スプレー その他(・)									
◆衛生管理区域の出入口の車両消毒 対消石灰帯 対消毒薬噴霧器 □車 その他(◆畜舎等の出入口の人の消毒 が踏込消毒槽 対消毒薬噴霧器	両用消毒槽 □ 車両用消毒ゲート □ 消毒マット								
◆衛生管理区域の出入口の車両消毒 対消石灰帯 対消毒薬噴霧器 □車であるの他(◆畜舎等の出入口の人の消毒 が踏込消毒槽 対消毒薬噴霧器 その他(4 畜舎ごとの家畜の飼養密度	両用消毒槽 □車両用消毒ゲート □消毒マット) □消毒マット □消毒マット)								
◆衛生管理区域の出入口の車両消毒 対消石灰帯 対消毒薬噴霧器 □車 その他(◆畜舎等の出入口の人の消毒 が踏込消毒槽 対消毒薬噴霧器 その他(両用消毒槽 □車両用消毒ゲート □消毒マット) □消毒マット □消毒マット))								
◆衛生管理区域の出入口の車両消毒 対消石灰帯 対消毒薬噴霧器 □車であるの他(◆畜舎等の出入口の人の消毒 が踏込消毒槽 対消毒薬噴霧器 その他(4 畜舎ごとの家畜の飼養密度	両用消毒槽 □車両用消毒ゲート □消毒マット) □消毒マット □ 手指消毒スプレー)								
◆衛生管理区域の出入口の車両消毒 ●消石灰帯 ●消毒薬噴霧器 □車 その他(◆畜舎等の出入口の人の消毒 ■踏込消毒槽 ●消毒薬噴霧器 その他(4 畜舎ごとの家畜の飼養密度 ○畜舎ごとに1頭(羽)当たりの床面積を記え	両用消毒槽 □車両用消毒ゲート ☑ 消毒マット) □消毒マット ☑ 手指消毒スプレー) へしてください。 □								

※ 畜舎ごとの家畜の飼養密度は「家畜を収容している区画の床面積÷収容頭羽数」により 第出してください。

2号豚舎(育成豚)

2号豚舎 (肥育豚)

○○m²/頭

○○m²/頭

○○m²/頭

 $\bigcirc\bigcirc m^2/3$

育成牛舎

1号鶏舎(採卵鶏)

- ※ 区画ごとの床面積や収容頭羽数が同一でない場合には、「家畜を収容している各区画の平均床面積:平均収容頭羽数」により算出してください。
- ※ 同一農場(畜舎)で種豚、母豚、育成豚、肥育豚を飼養している場合には、それぞれについて算出してください。

5 埋却用地の確保状況 (馬のみの所有者は記入不要)
〇口蹄疫(鶏等については、高病原性鳥インフルエンザ)の発生に備えた措置について、次の該当 する口にチェック印及び必要事項を記入してください。
▼すでに埋却用地を確保済み
① 埋却用地の所在地 <u>○○市△△町××番地</u>
※ 埋却用地の所在地を示した地図を添付してください。
② 埋却用地の所有者 本人(⑤に進む。③、④は記入不要。) 本人以外(③に進む)
③ 土地所有者氏名又は名称 土地所有者が本人以外ならば記入。
④ 土地利用に関する契約 □有 (契約内容 : 契約内容については、「貸借契約を成立」、「契約書は交わしていないが承諾を得ている」等の概要を記入。
⑤ 埋却用地の面積 〇〇〇 m2 埋却用地として確保できる面積を記入。
※埋却に必要な標準的面積: 飼養頭羽数×(牛)5.4m²、×(豚)0.9m²、×(鶏)0.7m²/100
⑥ 埋却用地の利用状況 □放牧地 □採草地 □その他()
⑦ 農場(畜舎等)から埋却用地までの距離 <u>○○m</u>
⑧ 埋却用地の近隣住民^{注2} その他の関係者への埋却の実施に関する説明の有無注2 埋却用地に隣接する地域の住民
⑨ ⑧の説明に対する当該関係者の承諾の有無 ■
⑩ その他埋却の的確かつ迅速な実施のための参考となるべき事項 埋却するにあたり、⑧及び⑨以外 (例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。 の対応を記入。
(例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。 の対応を記入。
(例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。 の対応を記入。 の対応を記入。 6 焼却又は化製のための準備措置の状況 (馬のみの所有者は記入不要) O焼却又は化製のための準備措置をしている場合、次の該当する口にチェック印を記入及び
(例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。 の対応を記入。 6 焼却又は化製のための準備措置の状況 (馬のみの所有者は記入不要) ○焼却又は化製のための準備措置をしている場合、次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入してください。(埋却用地を確保している場合は記入不要。 ① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地 ・名称 ○○化製処理場
(例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。 の対応を記入。 6 焼却又は化製のための準備措置の状況 (馬のみの所有者は記入不要) O焼却又は化製のための準備措置をしている場合、次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入してください。 (埋却用地を確保している場合は記入不要。 ① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地
(例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。 の対応を記入。 6 焼却又は化製のための準備措置の状況 (馬のみの所有者は記入不要) ○焼却又は化製のための準備措置をしている場合、次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入してください。(埋却用地を確保している場合は記入不要。 ① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地 ・名称 ○○化製処理場 ○○化製処理場 ○○化製処理場
(例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。 の対応を記入。 6 焼却又は化製のための準備措置の状況 (馬のみの所有者は記入不要) ○焼却又は化製のための準備措置をしている場合、次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入してください。(埋却用地を確保している場合は記入不要。 ① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地 ・名称 ・名称 ・名称 ・の・名称 ・所在地 ・所在地 ・所在地 ・の対応を記入。 の対応を記入不要。 ○ (鶏等については、高病原性鳥インフルエンザ)の発生に備えた措置を記入。
(例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。 の対応を記入。 6 焼却又は化製のための準備措置をしている場合、次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入してください。(埋却用地を確保している場合は記入不要。 ① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地・名称 ○○化製処理場・所在地 ○○市△△町××番地 ② 農場(畜舎等)から焼却施設又は化製場までの距離 ○○ km ③ 焼却施設又は化製場の近隣住民その他の関係者への焼却又は化製の実施に関する説明の有無 1 一 その他(
(例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。 の対応を記入。 6 焼却又は化製のための準備措置をしている場合、次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入してください。(埋却用地を確保している場合は記入不要。 ① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地 ・名称 ○ (化製処理場) ・所在地 ○ (市△△町××番地) ② 農場(畜舎等)から焼却施設又は化製場までの距離 ○ km ③ 焼却施設又は化製場の近隣住民その他の関係者への焼却又は化製の実施に関する説明の有無
(例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。 の対応を記入。 6 焼却又は化製のための準備措置をしている場合、次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入してください。(埋却用地を確保している場合は記入不要。 ① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地・名称 ○○化製処理場・所在地 ○○市△△町××番地 ② 農場(畜舎等)から焼却施設又は化製場までの距離 ○○ km ③ 焼却施設又は化製場の近隣住民その他の関係者への焼却又は化製の実施に関する説明の有無 1 一 その他(
(例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。 の対応を記入。 6 焼却又は化製のための準備措置の状況 (馬のみの所有者は記入不要) ○焼却又は化製のための準備措置をしている場合、次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入してください。 (埋却用地を確保している場合は記入不要。 ① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地 ・名称 ○(化製処理場 病原性鳥インフルエンザ)の発生に備えた措置を記入。 ・所在地 ② 農場(畜舎等)から焼却施設又は化製場までの距離 ○(km) ③ 焼却施設又は化製場の近隣住民その他の関係者への焼却又は化製の実施に関する説明の有無 ・ 「無」その他(② ③の説明に対する当該関係者の承諾の有無 「有」無」その他() 「本知の用に供する土地、焼却施設又は化製場を確保していない場合にあつては、これらを確保するための取組の状況 (馬のみの所有者は記入不要) ○次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入してくださて 口蹄疫 (鶏等については、高病 (現却用地を確保している場合や焼却又は化製のための準備措置をしているい場合にあって (現却用地を確保している場合や焼却又は化製のための準備措置をしている場合や焼却又は化製のための準備措置をしている場合を焼却又は化製のための準備措置をしている場合を焼却又は化製のための準備措置をしている場合を換割を記入してください (
(例:近隣住民以外(町内会)の住民にも説明。

8農場ごとに作成する飼養衛生管理マニュアル	
。 大規模所有者にあつては、従業員が特定症状 ^{注4} を確認した場合に家畜	保健衛生
9 大規模所有者にあつては、従業員が特定症状 ^{注4} を確認した場合に家畜 所へ直ちに通報することを規定したものの写し(馬のみの所有者は記	入不要)
○添付の有無について□にチェック印を記入。添付しない場合には、その理由を記入。	
■添付しない(理由:)

- 注3 大規模所有者とは、次の頭羽数に該当する家畜の所有者をいいます。
 - ①成牛(次のイ・ロに該当するもの)の場合 200頭以上
 - イ 月齢が満17月以上の肥育牛(乳用種の雄牛・交雑種の牛に限る。)
 - ロ 月齢が満24月以上のその他の牛
 - ②育成牛等(次のイ・ロに該当するもの)の場合 3,000頭以上
 - イ 月齢が満4月以上満17月未満の肥育牛(乳用種の雄牛・交雑種の牛に限る。)
 - ロ 月齢が満4月以上満24月未満のその他の牛
 - ③水牛・馬の場合 200頭以上
 - ④鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 3,000頭以上
 - ⑤鶏・うずらの場合 10万羽以上
 - ⑥あひる・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥の場合 1万羽以上
- 注4 特定症状とは、牛、豚等については、口蹄疫に関する症状、鶏等については、 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する症状をいいます。